

コサメビタキ（ヒタキ科） 全長 13 センチ

スズメよりも小さい。動きが素早くて撮影には苦労する小鳥である。

美郷町仏沢公園で、幼鳥と思われるコサメビタキが見つかった。頭にはまだ綿毛が残っているので、巣立ち後 10 日ぐらいだろうか。近くには親鳥もいるのですが、暫し待っていたが現れません。

枯れた枝先に留まり、しきりに周囲を見渡していた。何回か地面に降りたがまた元の位置に戻って来た。主な餌は昆虫類とされるが、慣れていないのか捕まえることはなかった。



頭と背中には綿毛が残っている。

ここは奥羽山脈の麓にあり松林が多く、近くには大きなため池があります。

キャンプ場として整備されている公園であるが、訪れる人も少なく小鳥から猛禽類まで伸び伸びと暮らしている。

親鳥の写真は 2006 年に撮影したものです。小太りでくりっとした可愛い目です。夏鳥として全国に飛来し、北海道から九州までの全国で繁殖します。



まだあどけない顔つきです。



何かを見つけたのか、飛び出していった。

高木の葉のない水平な枝の上に、蘚類を主な材料に椀型の巣を作るが、木のコブのように見え、簡単には見つからないと言われます。



2006年に撮影。目の周りの白いアイリングがチャームポイント。



雑木林やカラマツなど、明るい林に棲息する。